

研修医の処遇	
身分	湘南東部総合病院常勤医師
住宅	単身住宅貸与自己負担あり 個人賃貸住宅の場合には住宅補助制度あり
院内個室	初期臨床研修医室あり
給与	1年次: 月給 400,000円 2年次: 月給 500,000円 当直手当別途支給(副当直として原則、平日1回/週、日祝日1回/月) 1年次: 10,000円/回 2年次: 12,000円/回
勤務時間	8:30~17:30(月~土)
休暇	有給休暇年10日(入職後7ヶ月目から1年につき10日、以下労働基準法通り)その他(夏季休暇、年末年始、慶弔休暇)
保険	社会保険、健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険
健康管理	定期健康診断:年2回
食事	院内食堂あり
賠償保険	医師賠償保険は病院において加入 個人においても医師賠償責任保険に加入すること
学会活動	学会、研究会への積極的な参加をすすめたい。国内での宿泊を要する学会(研修会)は原則として年1回、旅費、宿泊費の一定額を病院が支給する。 ふれあい医療研究会での症例報告は必須とする。
福利厚生	入院・外来治療費減免



湘南東部総合病院	
住所	茅ヶ崎市西久保500番地
標榜科	22診療科 内科、外科、消化器科、循環器科、呼吸器内科、脳神経外科、神経内科、整形外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、小児科、精神科、歯科口腔外科、病理診断科、血液内科、腎臓内科、糖尿病内科、皮膚科
病床数	327床 一般206床、ICU5床、ホスピス緩和ケア32床、精神科44床 療養40床(内訳:回復期リハビリテーション28床 NASVA委託12床)
医療設備	MRI、マルチスライスCT、DSR、各種X線装置、電子内視鏡システム、胃大腸・気管支電子スコープ、ラジオ波焼灼装置、超音波診断装置、集中治療室患者監視システム、手術用電子顕微鏡、対外的衝撃波結石破碎装置、総合リハビリテーション室、手術室、透析室、救急施設、電子カルテシステム、デュアルソースCT、無菌室4床他
院長	市田 隆文
プログラム責任者	星川 嘉一
開設	平成12年4月
病院プロフィール	湘南東部医療圏(茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡寒川町)の中核病院として平成12年に開院。急性期医療を中心に回復期リハビリテーション、ホスピス緩和ケアまで幅広く医療を提供しています。特に地域医療で重要な救急医療、心疾患、脳血管障害、がん疾患、血液疾患等に対する医療や初期段階からの充実したリハビリテーションが特色。



交通のご案内
 ■JR東海道線「茅ヶ崎駅」北口より ○バス(⑥番のりば・神奈川中央交通バス) [茅25]寒川駅南口行(円蔵経由)、[茅26]文教大学行(矢畑経由)、で「西久保」バス停下車徒歩4分 ○タクシー約10分
 ■JR相模線「寒川駅」より ○バス(神奈川中央交通バス)「寒川駅入口」バス停より[茅25][茅26]茅ヶ崎駅ゆきで「西久保」バス停下車徒歩4分 ○タクシー約10分
 ●無料シャトルバスのご案内
 JR東海道線「茅ヶ崎駅」北口より徒歩1分の湘南さくらクリニック前より直行または茅ヶ崎中央病院経由のシャトルバスを運行しています。また、JR相模線「香川駅」前経由「鶴が台保育園」前経由のシャトルバスを運行しています。
 ●お車ご利用の場合
 新湘南バイパス[茅ヶ崎中央インター]出口および丸子中山茅ヶ崎線[茅ヶ崎中央インター]交差点よりバイパス下の側道を平塚方面へ約3分(駐車場完備)

研修医の研修スケジュール(例)	
1年目	消化器内科3か月・総合内科1ヶ月・呼吸器科1ヶ月・循環器科1ヶ月・腎臓内科1ヶ月・救急科3か月・外科1ヶ月・リハビリテーション科1ヶ月
2年目	地域医療1ヶ月・救急科1ヶ月・総合内科3か月・整形外科2ヶ月・外科1ヶ月・産婦人科1ヶ月・小児科1ヶ月・皮膚科1ヶ月・精神科1ヶ月



～・MESSAGE～

初期研修の2年間は医師としてのスタートとして、とても大切な日々です。この間できかに努力したかで、皆さんの将来が開けてきます。当院には経験豊富なベテラン医師が多くいますので、その経験を十分に修得できます。積極的に接して自分の糧にしてください。

プログラム責任者

星川 嘉一副院長



～・MESSAGE～

実際に研修してみて、やりたい手技をどんどんやらせていただける自由な雰囲気や、上級医と研修医の距離が想像していた以上に近かったことにも驚きました。循環器科では心臓カテーテルの穿刺と造影を経験し、消化器内科では上部消化管内視鏡カメラを挿入撮影して抜くところまでを経験しました。

初期臨床研修医2年次

川井 浩平

～・MESSAGE～

初期研修は、3・4年で1人立ちするための大切な期間です。当院は、大学病院と比較するとカンファレンスや勉強会は少ないですが、研修医の行える手技は多く、輸液や薬も自分で考えて間違いがなければオーダーし管理することができます。3年目以降に自分で動ける医師になるためのトレーニングは充分できる病院だと思うので、ぜひ見学に来て下さい。

・選んだ理由

二次救急であり断らない救急であるため、そのERを1年目で3か月研修することで診断→治療のスキルの修得、向上が出来ると考えてこの病院を選びました。

初期臨床研修医1年次



～・MESSAGE～

救急から緩和医療まで、急性期と慢性期を総合的に診療するベッド数327床という当院は大学病院や大規模病院と異なり、フットワークの良い研修ができるユニークな病院です。チューターから指導医は各診療科の専門医であり、トップは大学で教鞭をとっていた陣容で固めております。無知な医師は万死に値する。多くの臨床例を身近に経験し、勉強して立派な医師になる初期研修、後期研修の研鑽の場として門をたたいてくれる君たちを大歓迎する。

臨床研修委員会委員長、湘南東部総合病院院長

市田 隆文

